

測量機

快測ナビ

Kiet-Corporation Measurement Device RENTAL

TOPCON製LN-150／LN-100（杭ナビ）などの各測量機器と連動し、従来は複数名で行っていた現場での位置出しや丁張設置、施工段階のチェックなどの作業を「ワンマン」で行うことができるICT施工現場端末アプリです。

【快測ナビ】株式会社建設システム



機 能	アドバンス版	
	TS	GNSS
測設（座標・路線・ライン・CAD）	○	○
測設（横断・3D構造物測設）	○	○
観測（放射・横断放射・2Dライン・レベル）※ ¹	○	○
観測（3Dライン・快測Scan）	○	○
CAD図面配置	○	○
CADビュー	○	○
どこでもナビ	○	○
どこでも構造物、どこでも床掘、どこでも法面 ※ ²	○	○
どこでもSurface、どこでもスライス、どこでも丁張	○	○
プランニングナビ-Surface （座標点観測、Surfaceエディター、Surfaceガイダンス、標高ガイダンス）	○	○
プランニングナビ-Line （基準線エディター、ガイダンス施工、TS出来形計測、TS出来形検査）	○	○
快測モニター	○	×
TS出来形対応（どこでも出来形・計測・検査）※ ³	○	△
Surface出来形（TSローバー観測、検査・ノンプリスキャン）※ ⁴	○	○

※¹GNSSモードでは機能名が「観測（ローバー・横断放射・2Dライン・レベル）」に変更となります。

※²対応測量機器にて、自動追尾で接続した場合のみ使用可能です。自動視準やマニュアル機の場合はご利用いただけません。

※³GNSSでは出来形計測の確認機能はご利用いただけませんが、記録機能はご利用いただけません。

※⁴GNSSではノンプリスキャン計測ができないため、ノンプリスキャン機能はご利用いただけません。

また、GNSSモードでは機能名が「Surface出来形（ヒートマップ観測、検査）」に変更となります。

【オプション】 グリップホルダー



✓ **ワンマン測量（技術者 or 作業員）**

最小限の人員での作業を可能に！

TOPCON 製 LN-150、LN-100（杭ナビ）の活用で、従来は複数名で行っていた現場の位置出しや観測、施工段階のチェックなどの作業を「ワンマン」で行うことが可能！
計画データの位置出しや出来形をリアルタイムに確認できる！

技術者 or 作業員

現場 コード

観測ナビ 杭ナビ

作業員

GNSS 連動機能

端末の位置情報を活用して、測量機が端末方向を自動で追尾する「GNSS 追尾」機能を搭載。
測量機がおよそその端末方向を追尾するため、サーチするだけでかんたんにアリスロックが可能！
「ワンマン測量」の作業効率を大幅に向上させます。

✓ **どこでもナビ** 特許取得

革新的なリアルタイムナビゲーション機能

3D 施工データを元に、現在位置の横断形状をリアルタイムに生成・表示。計画データとの離れや標高差を常に表示し、施工ナビゲーションとして活用できます。切り出し位置のマーキング、横断物設置のガイド、施工後・据付後のチェックなど、様々な現場で活用されています。

① 計画横断形状の選択点への上下左右離れをリアルタイムに表示。
② 現在位置の測点とセンターからの左右離れ、観測標高、計画横断上からの標高差をリアルタイムに表示。
③ 騒音を気にせず設計差を伝えられることができる、音声読み上げ機能を搭載。

複数形状の同時表示に対応

複数の横断形状を同時に表示することができ、また、表示したい横断形状を個別に選択することも可能です。

横断物設置や床掘りや法面整形など、各作業に適した表示が可能！「どこでも構造物」「どこでも床掘」「どこでも法面」機能も搭載しています。

✓ **どこでも丁張** 注目機能 特許取得

既定断面や任意断面でも『どこでも丁張』

3D 施工データから丁張りに必要な数値を瞬時に計算できるので、事前の丁張計算は不要です。水平離れ、観測点法長、鉛直離れなどをリアルタイムに確認しながら、丁張を設置できます。クロソイドカーブ中などの任意断面の丁張りも、どこでもリアルタイムに計算できます。

「どこでも丁張」を使用し、若年技術者（入社4年目/2年目）だけで丁張設置をしている様子
撮影協力：株式会社大竹組（徳島県）

リアルタイムに確認できる主な計算結果

断面離れ / 水平離れ / 鉛直離れ / 鉛直離れ / 観測点法長
観測点法長（鉛直） / 始点鉛直高 / 始点水平距離 / 観測点標高
幅距離 / CL 離れ / 設計値

✓ **どこでも Surface** i-Construction 対応

i-Construction の 3次元設計データと路線データを活用し、リアルタイムに 3次元モデルを確認しながら、観測位置と設計面との標高差・水平公差・垂直公差を確認できます。ICT 活用工事の現地検査にもご利用いただけます。
※GIS 形式のファイルを読み取り可能です。

✓ **どこでもスライス / 3D 構造物測設** 注目機能

「SITE-STRUCTURE」で作成して「SITE-NEXUS」で現場座標に配置した構造物モデルを「快測ナビ」で使用できる「どこでもスライス」と「3D 構造物測設」機能を搭載。
「どこでもスライス」は、路線・構造物のエッジ・標高を基準としてスライスし、スライスした断面との差をどこでもガイドします。
「3D 構造物測設」では、BIM/CIM モデルの端点をスナップし、モデル座標値に誘導することが可能です。

✓ **GNSS 測量機に対応**

TOPCON、SOKKIA の GNSS 測量機と接続し、GNSS で測位した上で、「快測ナビ」の各機能をご利用いただけます。
RTK とネットワーク型 RTK のどちらの観測方式にも対応しています。

TOPCON SOKKIA

HiPer HR HiPer VR HiPer SR HiPer V GIX3 GIX3 GSX2